

事業番号 2
千葉県 県土整備
公共事業評価審議会
令和5年度 第4回

事業再評価

社会資本整備総合交付金(街路事業)

木更津都市計画道路3・3・7号中野畑沢線

袖ヶ浦都市計画道路3・3・11号西内河根場線

令和6年1月29日

千葉県 県土整備部 道路整備課

目次

1. 事業の概要
2. 事業の進捗状況
3. 社会経済情勢
4. 事業の投資効果
5. コスト縮減
6. 対応方針(案)

1. 事業の概要

(1) 事業の位置

木更津都市計画道路3・3・7号中野畑沢線
袖ヶ浦都市計画道路3・3・11号西内河根場線

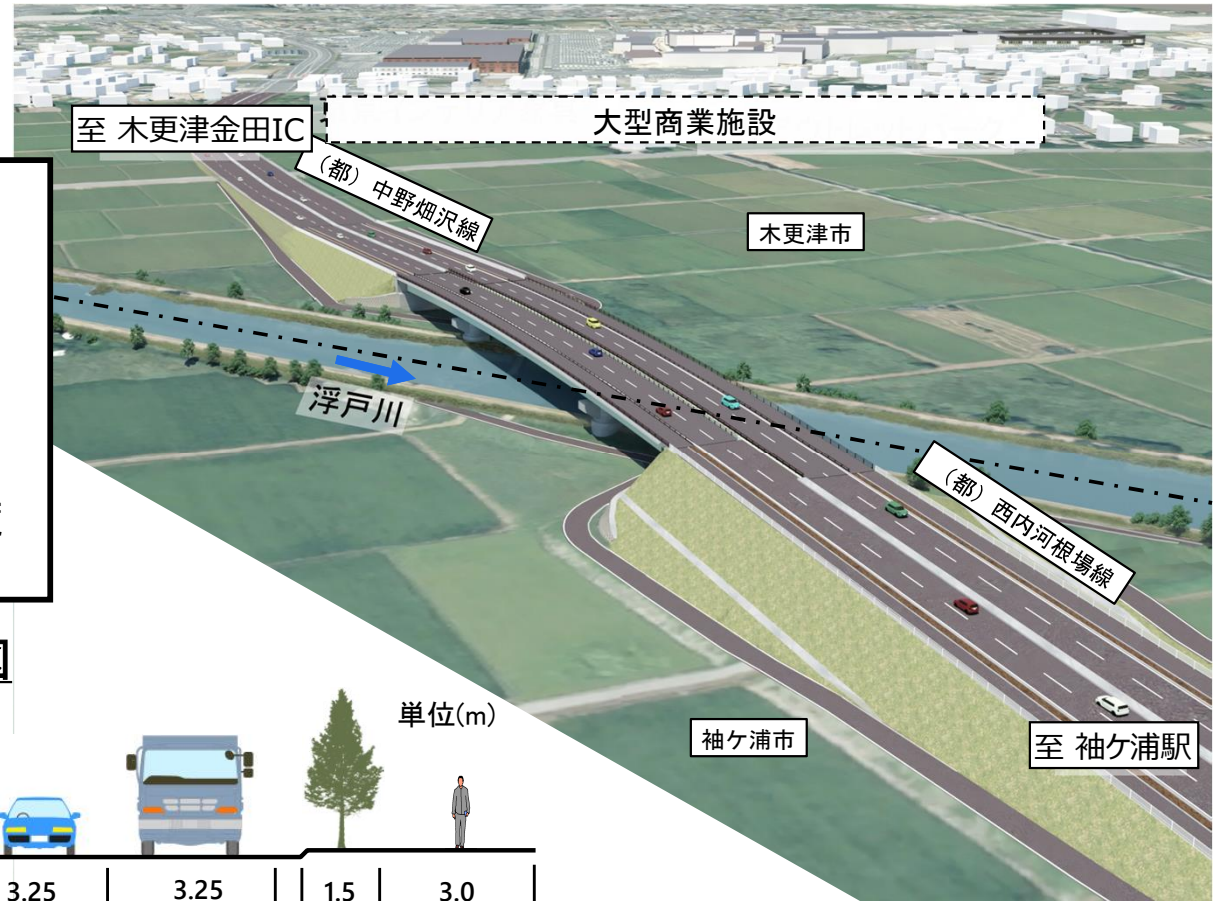
位置図



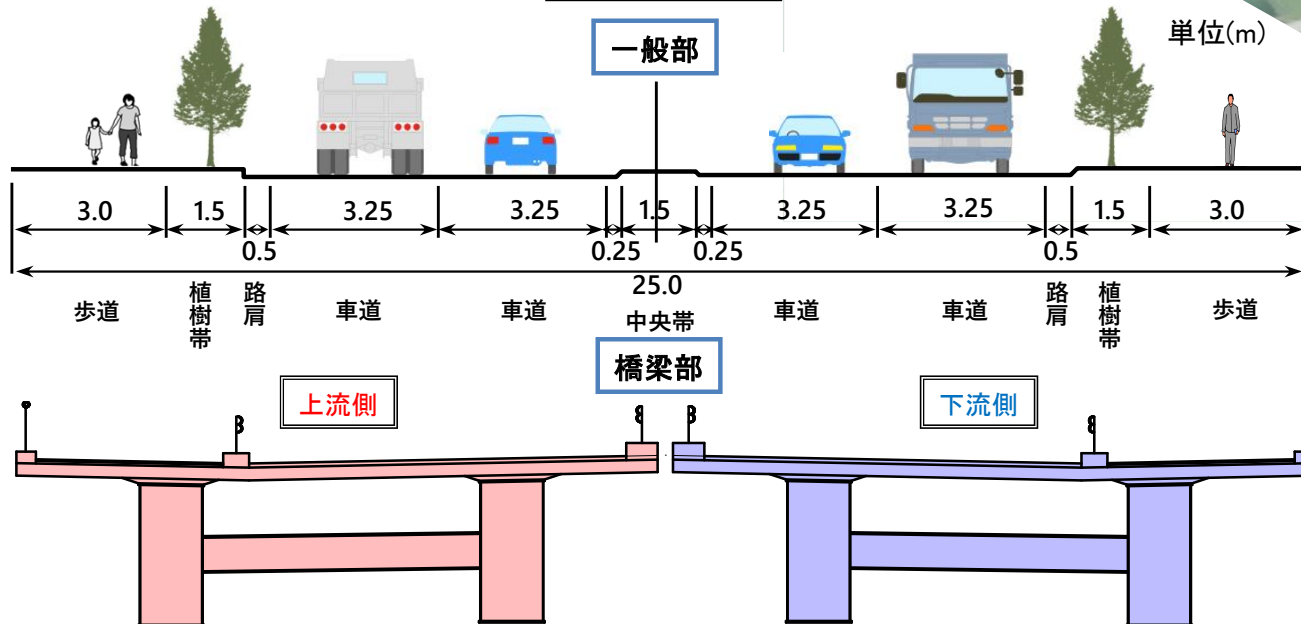
1. 事業の概要

(2) 事業内容

- ・事業区間 : 木更津市金田東三丁目
~ 袖ヶ浦市坂戸市場
- ・事業延長 : L=1,059m
- ・幅員 : W=25m
- ・道路規格 : 第4種第1級
- ・設計速度 : 60km/h
- ・事業期間 : 平成29年度~令和10年度
- ・事業費 : 68億円



標準断面図



2. 事業の進捗状況

(1) 事業の進捗状況

■事業経緯

平成29年度	事業着手
平成30年度	用地着手
平成30年度	工事着手
令和10年度	事業完了予定

■進捗率

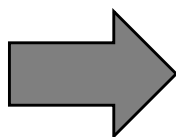
事業進捗率	約30% (令和5年度末予定)
用地進捗率	約99% (令和5年度末予定)



2. 事業の進捗状況

(2) - 1 事業費増加について

現在計画
31億円



今回評価(R5再評価)
68億円(約37億円増)

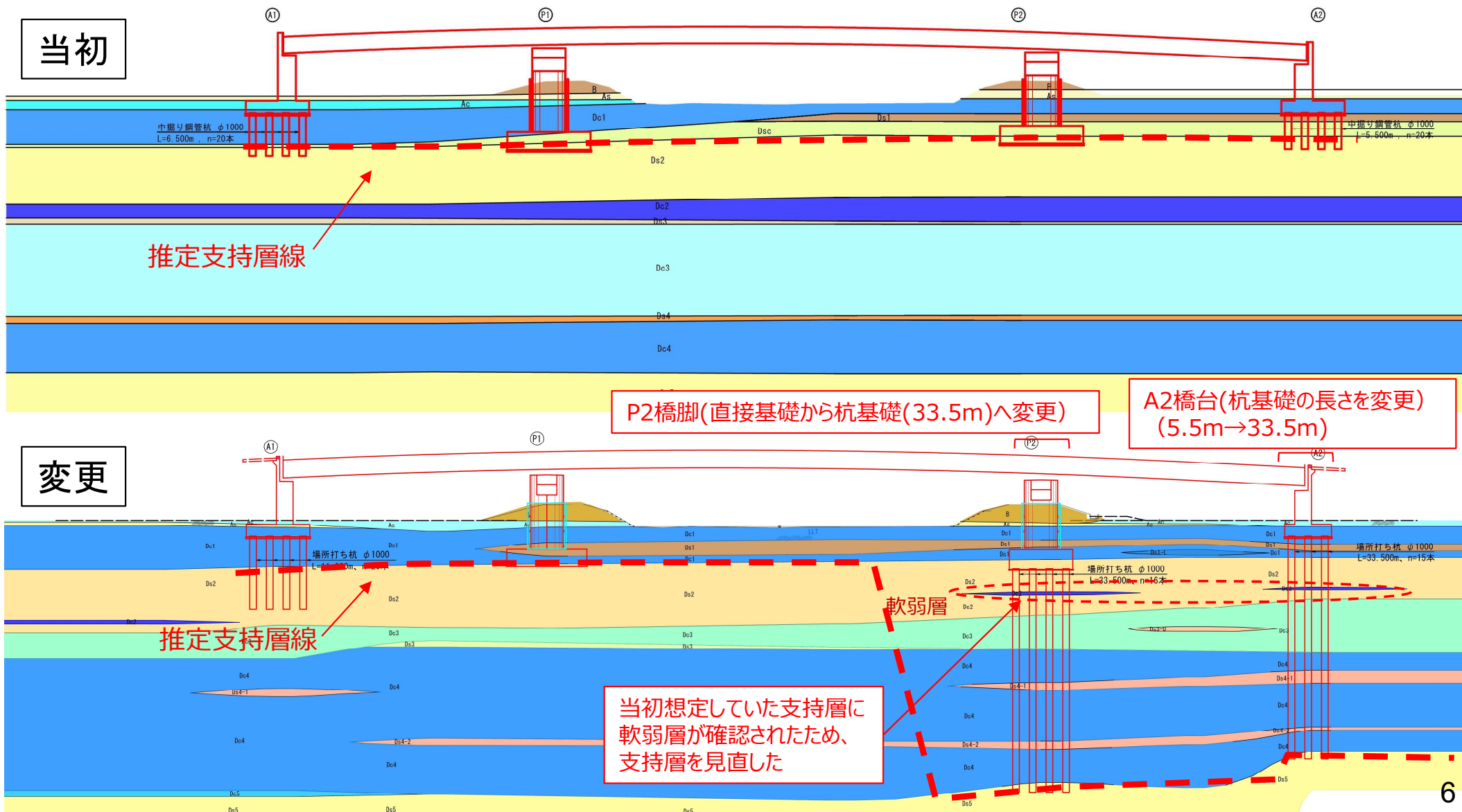
項目	内容
橋梁工事費の増 (35億円)	①構造形式等の見直し(増額 33億円) ②河川協議に伴う仮設の見直し(増額 2億円)
その他 (2億円)	①用地買収費の増額

2. 事業の進捗状況

(2) - 2 事業費の増加理由

＜橋梁工事費の増＞①構造形式等の見直し

詳細設計のためボーリング調査を行ったところ、当初想定よりも支持層の位置が深く、新たに軟弱層が確認されたなど、把握していた地盤状況が変わり、下部工の形式や杭の長さなど橋梁形式の変更が生じたため。

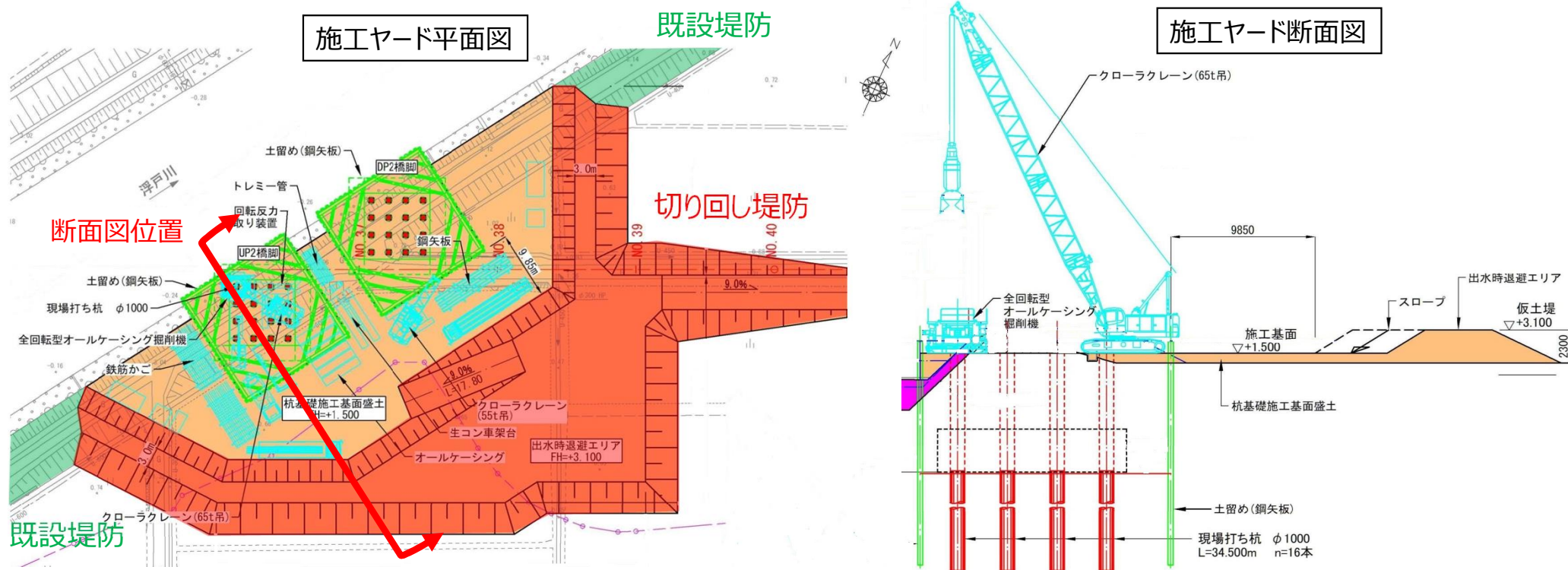


2. 事業の進捗状況

(2)－3 事業費の増加理由

＜橋梁工事費の増＞②河川協議に伴う仮設の見直し

橋脚施工のために河川管理者と協議を行ったところ、仮設土留めによる河積阻害分を補うために橋脚施工箇所
の背面に切り回し堤防を設置する必要が生じたことなど、橋梁施工に伴う仮設を見直したため。

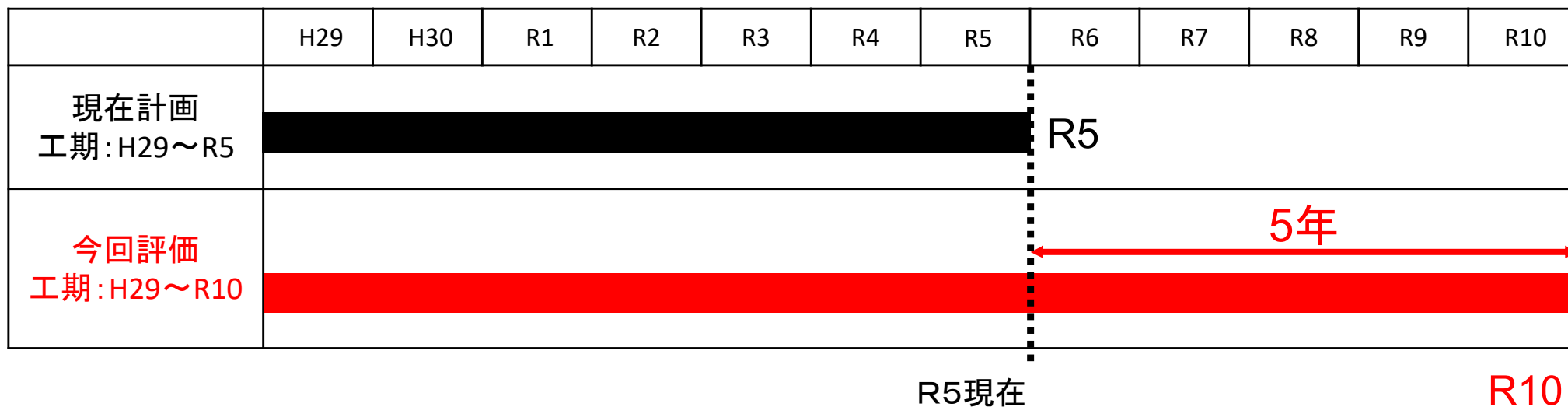


＜その他＞①用地買収費の増額

周辺の地価上昇に伴い、増額となった。

2. 事業の進捗状況

(3) 事業期間の延伸



延伸理由

- ・用地取得に時間を要したため。

3. 社会経済情勢

(1) 交通混雑の状況

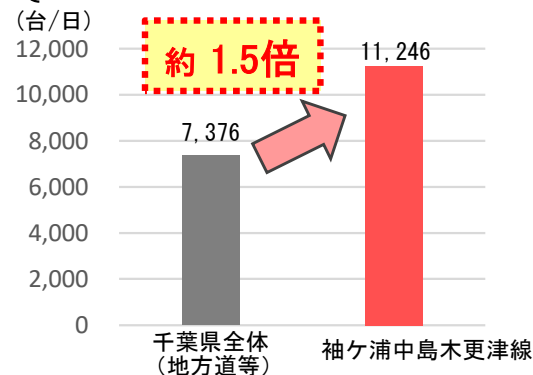
・(主)袖ヶ浦中島木更津線の木更津市中野地先交差点では、朝夕に最大140mの渋滞が発生。

交通混雑の状況



袖ヶ浦中島木更津線と千葉県全体(地方道等)の交通量の比較

〔令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果 袖ヶ浦中島木更津線(左図交通量観測地)のみ 個別調査結果(令和4年2月24日)〕



袖ヶ浦中島木更津線の渋滞発生状況



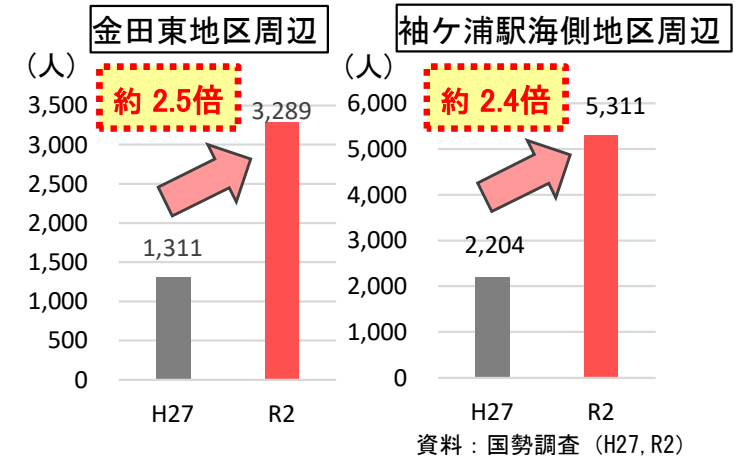
3. 社会経済情勢

(2) 区画整理事業によるまちづくり

- 中野畑沢線・西内河根場線の周辺では、土地区画整理事業によるまちづくりが実施されており、人口は、金田東地区周辺は約2.5倍、袖ヶ浦駅海側地区周辺は約2.4倍に増加。



■人口推移



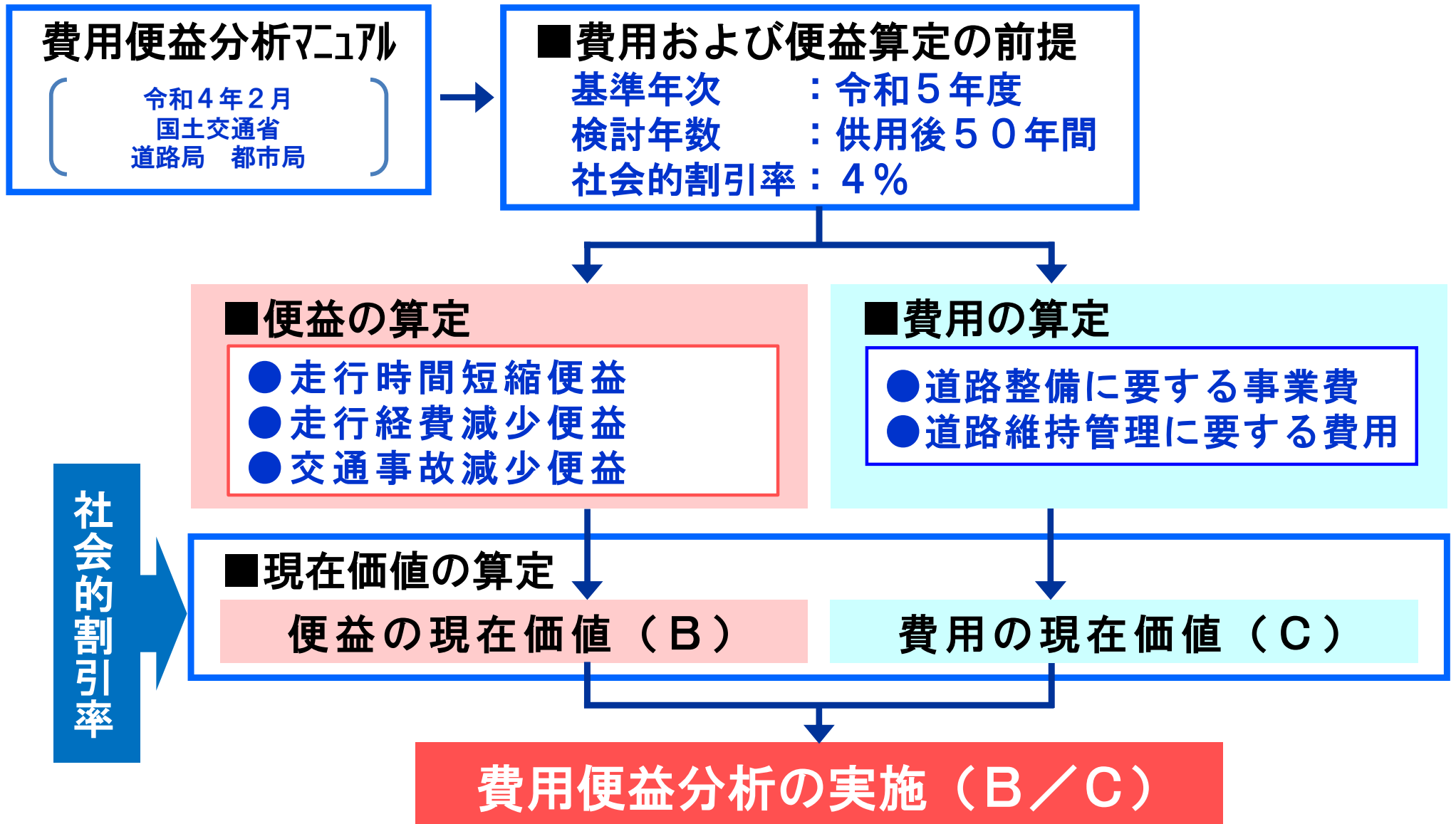
■土地区画整理の状況(袖ヶ浦駅海側土地区画整理)



資料：袖ヶ浦駅海側土地区画整理組合HP

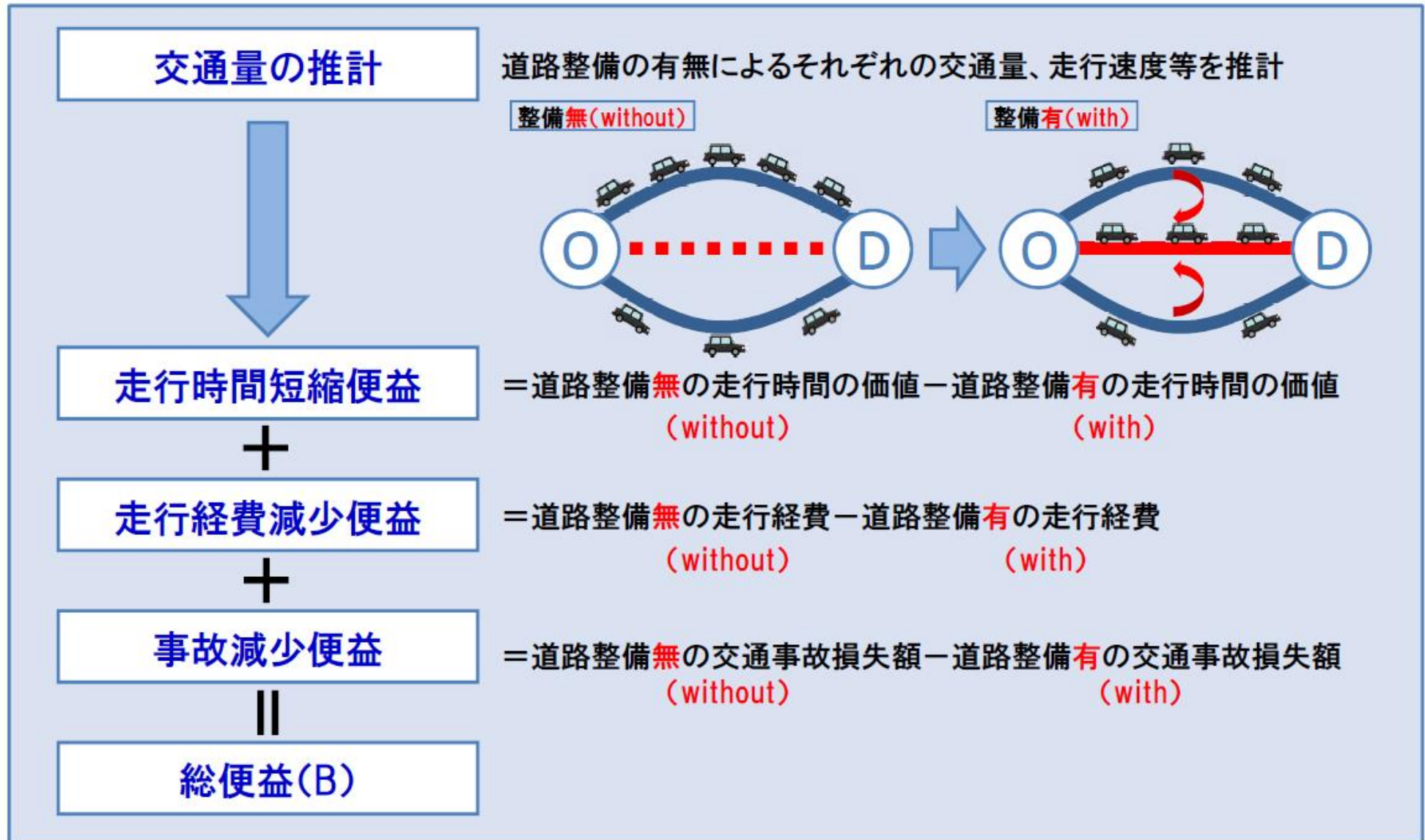
4. 事業の投資効果

(1) 費用便益比の算定方法



4. 事業の投資効果

(2) 便益の算定方法

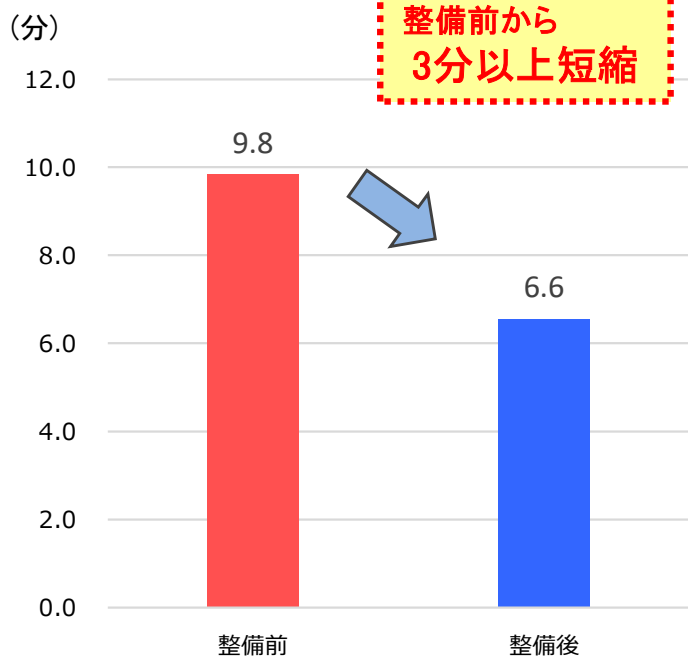


4. 事業の投資効果

(3) 移動時間短縮

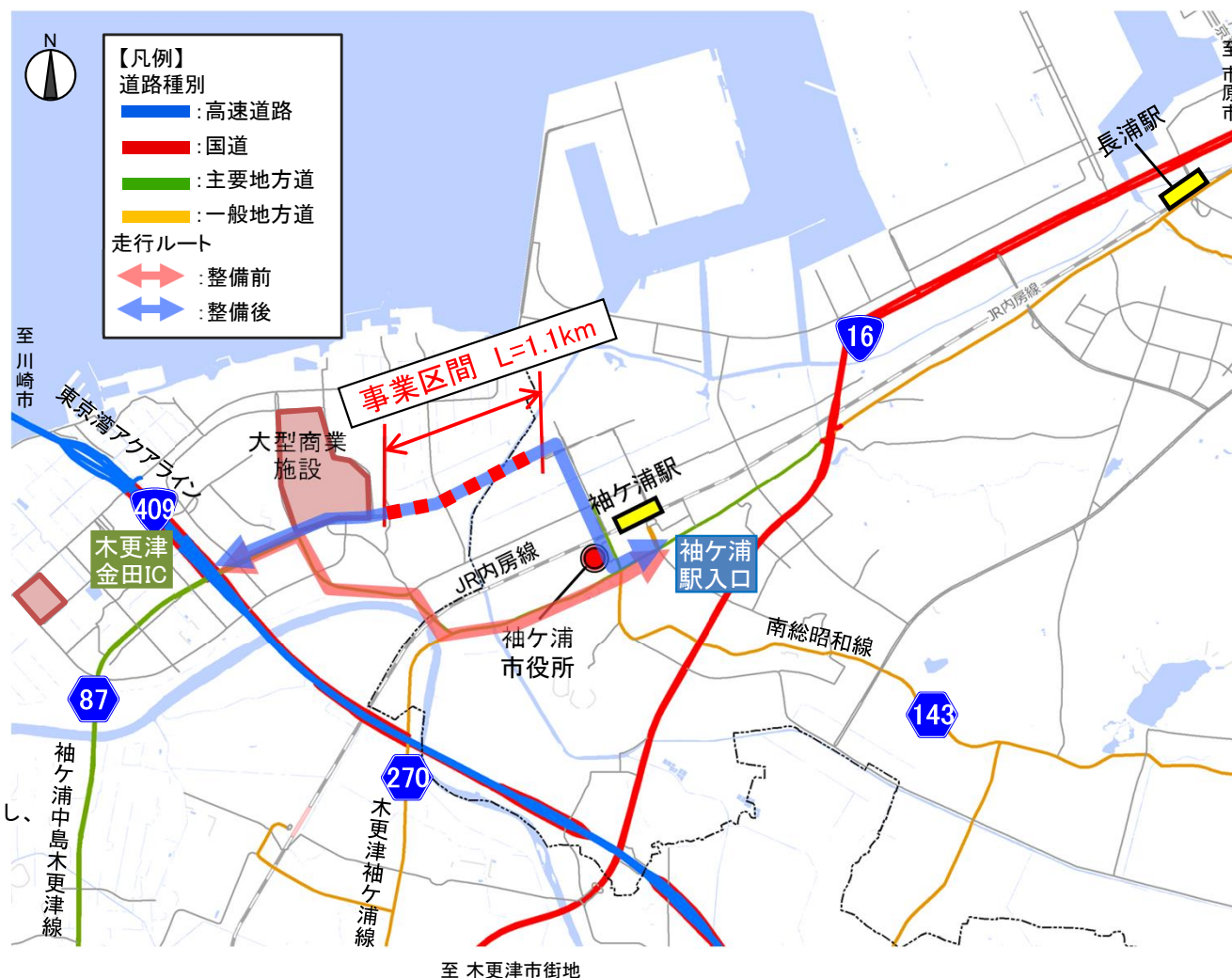
- ・ 袖ヶ浦駅入口～木更津金田IC間の所要時間は、中野畑沢線・西内河根場線の整備前後で約3分の時間短縮。

■ 移動時間短縮



〈算出方法〉

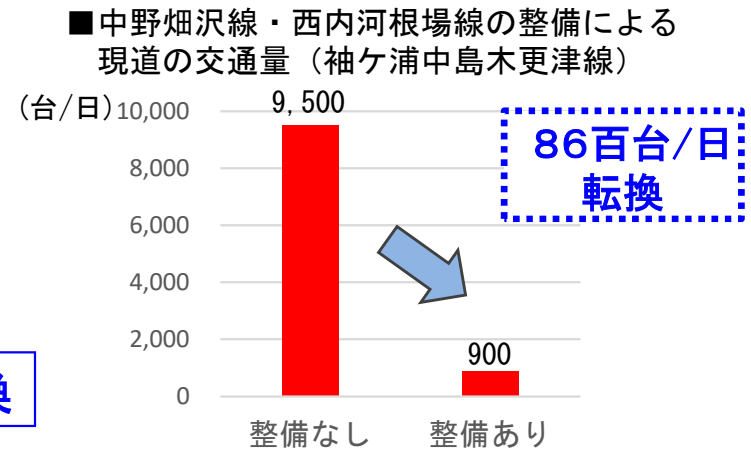
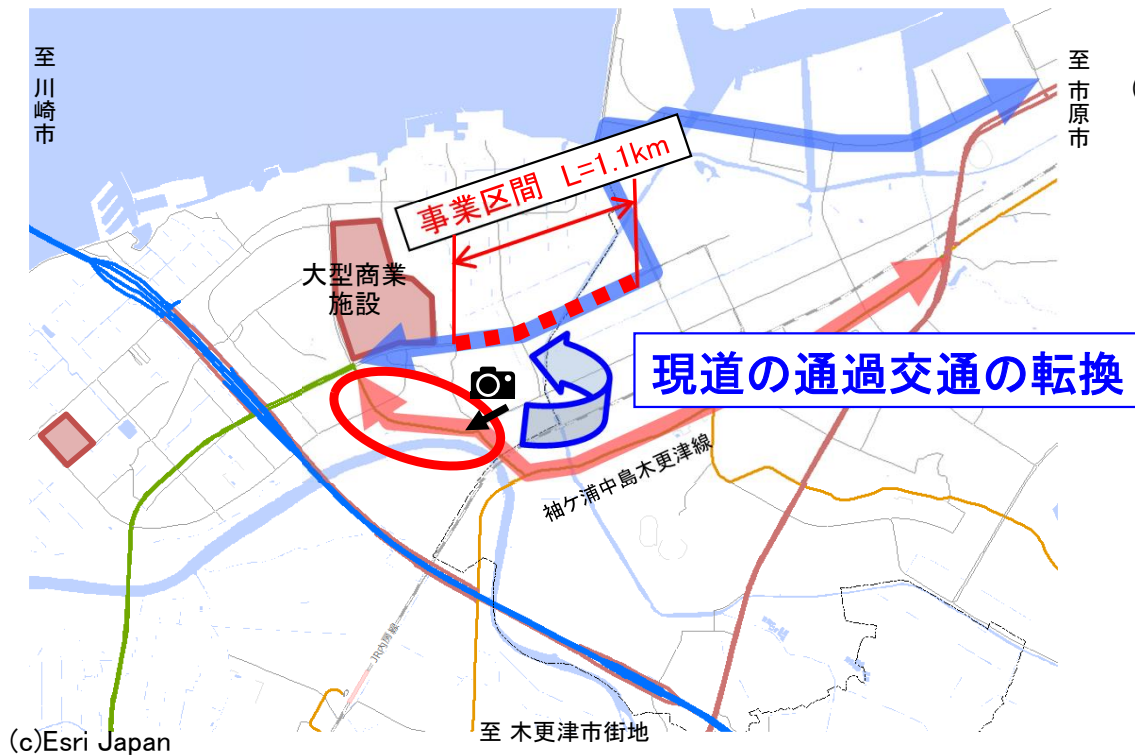
- ・ 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果(昼間旅行速度)を参照し、旅行速度を算定
- ・ 中野畑沢線・西内河根場線及び市道の旅行速度は下記の通り設定
 - 中野畑沢線・西内河根場線：50km/h
 - 市道(2車線)：40km/h
 - 市道(4車線)：50km/h



4. 事業の投資効果

(4) 交通の円滑化・渋滞緩和

- ・ (主) 袖ヶ浦中島木更津線の通過交通が都市計画道路中野畑沢線・西内河根場線へ転換し、周辺道路の交通の円滑化が図れ、現道区間の渋滞緩和が見込まれる。



■ 袖ヶ浦中島木更津線の渋滞発生状況



4. 事業の投資効果

(5) 費用便益比

【事業全体】

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	70億円	0.2億円	0.1億円	70億円	
費用 (C)	事業費	維持管理費		総費用	1.2
	59億円	0.5億円		60億円	

基準年：令和5年度

【残事業】

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	70億円	0.2億円	0.1億円	70億円	
費用 (C)	事業費	維持管理費		総費用	1.8
	39億円	0.5億円		39億円	

基準年：令和5年度

- 注1) 便益・費用については、基準年(令和5年度)における現在価値化した後の値である。
注2) 費用及び便益額は整数止めとする(交通事故減少便益及び維持管理費を除く)。
注3) 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

4. 事業の投資効果

(6) 費用便益比の算定結果

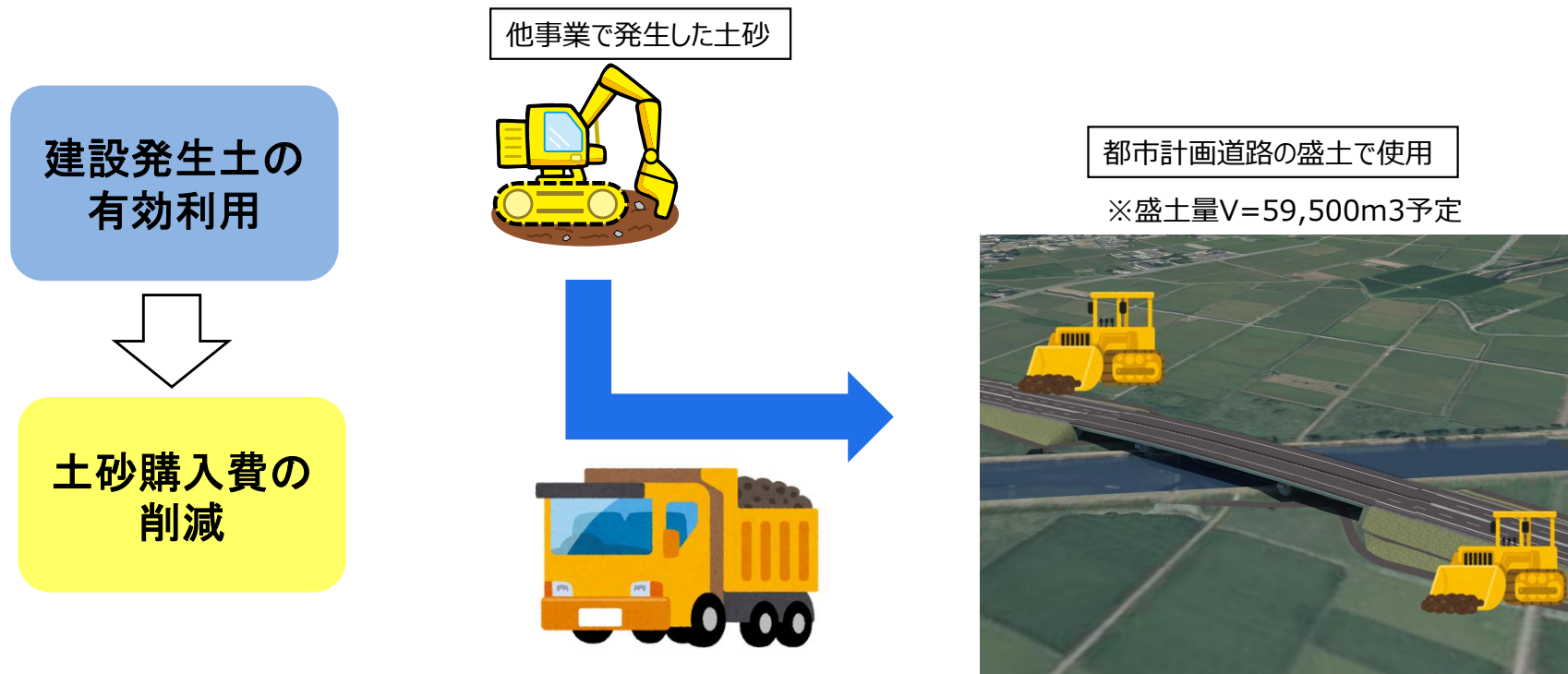
B/Cの 比較		今回評価(R5)	現在計画
	費用便益マニュアル	令和4年2月版	平成20年11月
	対象延長	1,059m	1,059m
	基準年次	令和5年度	平成28年度
	供用予定年次	令和11年度	平成36年度
	分析対象期間	供用後50年	供用後50年
	基礎データ	平成27年度 道路交通センサス	平成17年度 道路交通センサス
	計画交通量	13,800~18,400 台/日	19,000 台/日
	総便益 (B)	70 億円	39 億円
	総費用 (C)	60 億円	24 億円
B/C	1.2	1.6	

事業費の 比較		今回評価(R5)	現在計画
	事業費	68 億円	31億円

5. コスト縮減

土砂購入費の削減

- ・他事業で発生した土砂を盛土で使用することにより、土砂購入費を縮減
- ・技術の進展による新技術・新工法の積極的な活用を図り、コスト縮減に努めていく



6. 対応方針(案)

事業を継続し、効果の早期発現を目指す

【理由】

○費用便益比 (B/C) は、事業全体 「1. 2」
残事業 「1. 8」

○整備効果

- ・ 交通の転換による周辺道路の交通の円滑化・渋滞緩和